

One Control LX Tuner with BJF BUFFER

User Guide ユーザーガイド
CONGRATULATIONS ON YOUR PURCHASE!!!

このたびは、ワンコントロール、エルエックスチューナーウィズビージェイエフバッファをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本機の性能を十分に発揮するため、
また誤使用による不具合を防ぐためにこの説明書をよく読んでお使い下さい。

チューナーに求められること。音を大きく変えることはなく、同時にバッファとしても使うことができること。
見やすいディスプレイで、素早くチューニングが行えること。
そして何よりも、信頼して使うことができること。

かつて、多くのペダルチューナーにはバッファが組み込まれていました。通常、ボードの先頭に設置するペダルチューナーにバッファを組み込むことで、その後にかかるシグナルの減衰を和らげるためです。
ところが、そのバッファが音を変えてしまいました。単に信号を計測するためのチューナーが音を変えるのは望ましくない。そういった声を受け、トゥルーバイパスのペダルチューナーが一般的となっていきました。

チューナーが音を大きく変えるべきではない。しかし、チューナーにバッファが組み込まれていることのメリットは大きい。
その両方を同時に叶えることができれば、トゥルーバイパスにこだわる必要はなくなります。つまり、音を大きく変えることのないバッファが重要です。

しかし、バッファはどんな場合にでも有効とは限りません。
例えば、古いスタイルの回路ではバッファを通すことでインピーダンスが変わってしまい、ギターから直結すること“だけ”に特化したエフェクトは、音が変わってしまったりすることがあります。

そんなエフェクターを使用する際や、どうしてもバッファを通したくない場合などにも対応できるよう、バッファ自体の ON/OFF スイッチを装備しました。

これにより、トゥルーバイパスとしても、バッファードバイパスとしても使うことが可能です。

●BJF BUFFER

One Control の数々のスイッチャーに搭載される BJF BUFFER は、多くの“バッファ”に抱かれるイメージを覆す、圧倒的にナチュラルなこのバッファです。

- ・ゲインを正確に 1 にすること。
- ・インプットインピーダンスでは、音を変えないようにすること。
- ・アウトプットは強くなりすぎないようにすること。
- ・ノイズは極限まで少なくすること。
- ・オーバーロードしたときに、音が悪くならないようにすること。

BJF のこだわるバッファの条件を満たし完成した BJF Buffer は、世界中多くのプロフェッショナルの足元で、ギターシグナルの手助けをしています。

バイパス時にもナチュラルなトーンを崩すことなく、同時にシグナル自体を強くして、ケーブルや端子からの影響による減衰を防ぎ、チューナー ON 時にはアウトプットをミュートして、快適にチューニングを行える。
さらに、ペダルボードで余計な場所を取ってしまうことのない小さな筐体により、ペダルボードの面積を最大限に活用できる。

One Control LX Tuner with BJF BUFFER に搭載されているバッファは、すべてのギタリスト/ベーシストが求めたチューナーの形なのです。

●超高精度チューナー

LX Tuner with BJF BUFFER は、チューナー部に KORG PitchBlack Custom を使用しています。

立体的で美しく、圧倒的な視認性の 3D ビジュアルメーターを持ち、ストロボモードでは±0.1 セントの超高精度チューニングを行えます。ステージでは素早く、イントネーション調整などではより高い精度で。用途によってディスプレイを切り替えながら自在にチューニングを行うことができます。

●4 つのディスプレイモード

オーソドックスな“レギュラー A モード”のほか、メーターが流れる方向と速度でピッチの変化を示し、細かな誤差まで視認しやすい“ストロボモード”“ハーフストロボモード”、そして基準ラインを目指して下から上にメーターを積み上げ上昇させていく、縦型表示ならではの“レギュラー B モード”を搭載しています。

●幅広いコンサートピッチに対応するキャリブレーション設定

LX Tuner with BJF BUFFER は、A4=436 ~445Hz(1Hz ステップ)で基準ピッチを設定することができます。基準ピッチを 1Hz 変えるだけで、楽曲のイメージが全く違うものになることもあります。様々なコンサートピッチに対応することで、プレイスタイルを問わずに安心してチューニングを行えます。

●電池駆動に対応

LX Tuner with BJF BUFFER は、スタンダードなセンターマイナス DC9V アダプターに加え、9V 電池で駆動させることもできます。

万が一のトラブルの際の補助電源として使ったり、どうしても電源を取ることができない場所でのチューニングなど、多くのシチュエーションでご使用いただけます。

●ペダルチューナーの利便性

近年、クリップタイプのマイクを内蔵し、ヘッドやボディの振動を拾うクリップチューナーの性能も高まっています。

手軽で利便性の高いクリップチューナーは、大きな音の出るライブステージでのチューニングの際、どうしても他の楽器の振動や音程を拾ってしまうことがあります。

ペダルチューナーはギター/ベースからのシグナルを直接検知するため、ステージ上で確実に素早いチューニングを行うことができます。視認性も高く、野外ステージなどでも正確なチューニングを行えます。

●電池の入れ方

- ・底面の 4 隅にあるネジを外し、裏蓋を開きます。
- ・電池スナップに電池を取り付けます。電池の極性に注意してください。
- ・電池を中央の溝に入れ、裏蓋を閉じてネジを締めます。

電池は設定保持用電源としても使用され、キャリブレーションとディスプレイ・モードの設定を保持します。本体から電池を抜いたときや電池に寿命がきたときは、キャリブレーションが 440Hz、ディスプレイ・モードの設定がレギュラー A にリセットされます。
電池寿命が近づくと、音名表示が点滅します。早めに新しい電池に交換してください。

●接続

フットスイッチを手前側にして本体を設置し、右側の端子がインプット、左側がアウトプットとなります。

インプットにはギター・ベース等の楽器を、アウトプットにはアンプへのケーブルを接続します。各端子はモノラルです。

インプットにケーブルを接続すると、本体の電源が ON になります。電池が内部に入っている場合、電流を消費しますので、長期間使用しないときはインプットからケーブルを抜いてください。

アダプターを接続している場合も、インプットにケーブルを接続しないと電源は ON になりません。

奥側にある 9VIN 端子にはアダプターを接続します。センターマイナス DC9V、パレルタイプ 2.1mm の標準的なエフェクター用アダプターを接続します。

9VIN 端子の隣にある銀色のスイッチでインプット部の B/J Buffer ON/OFF を切り替えます。ON 側にすると、チューナーバイパス時にもインプットバッファを通ります。OFF 側にするとチューナーはトゥルーバイパスとなります。

●チューニング

・インプットにケーブルを接続し、楽器を接続してフットスイッチでチューナーを ON にします。

※最大 4 時間入力がないときは、自動的にチューナーがオフになります。また自動的にチューナーがオフになった場合、BYPASS 端子から出力しない状態でオフになります。TUNER ON/OFF スwitchを押して、再度チューナーをオンにしてから使用してください。

・キャリブレーション、ディスプレイモードを設定します。(各設定については後述)

・楽器を単音で鳴らし、音階を調整したい音に合わせます。

・LED メーターで音程を調整します。初期状態のディスプレイモードでは中央の赤いラインのみが点灯している状態がチューニングが合っている状態です。(ディスプレイモードによりチューニングの表示が異なります。)

・チューニングが終了したら、フットスイッチでチューナーを OFF にします。

●キャリブレーションの設定

キャリブレーションは、チューニングの基準となるピッチを調整します。ここでは A4 の音を 436~445Hz の範囲で調整します。出荷時は 440Hz に設定されています。

CALIBRATION ボタンを押し、キャリブレーションを設定します。ディスプレイの数字がキャリブレーションの値を示します。CALIBRATION ボタンを押すたびに設定が変わります。

0: 440Hz、1: 441Hz、2: 442Hz、3: 443Hz、4: 444Hz、5: 445Hz、6: 436Hz、7: 437Hz、8: 438Hz、9: 439Hz

2 秒間ボタンを押さなければ、そのときのキャリブレーションに設定されます。音名表示が 3 回点滅し、キャリブレーションの設定が完了したことを示します。

※キャリブレーションの設定は、電源がオフの状態でも保持されます。ただし、電池を外したり、AC アダプターを抜いた場合には、工場出荷時の設定(440Hz)に戻ります。また、電池を接続していても、電源の供給されていない AC アダプターのプラグを挿した場合には工場出荷時の設定に戻ります。

●ディスプレイモード

DISPLAY ボタンで 4 つのディスプレイモードを切り替えます。DISPLAY ボタンを押すと現在のディスプレイモードの番号が表示され、ボタンを押すたびに番号が切り替わります。2 秒間ボタンを押さなければ、その時点のディスプレイモードが選択されます。

1: レギュラー A

LED メーターの赤のみが点灯するようにチューニングを行います。ピッチが高いときはメーターの赤より上、低いときは赤より下のメーターが白で表示されます。

2: ストロボ

LED メーターの点灯の流れが止まるように楽器をチューニングします。精度が高いため、より正確なチューニングが可能です。LED メーターの点灯は、ピッチが高いときは下から上へ、低いときは上から下へ流れます。

3: ハーフストロボ

LED メーターの点灯の流れが止まり、赤の LED だけが点灯するように楽器をチューニングします。ピッチが高いときは上側の城の LED で、低いときは下側の白の LED でストロボを表示します。ピッチが合うと、赤の LED だけが点灯します。

4: レギュラー B

下側の白の LED 全部と赤の LED が点灯するように楽器をチューニングします。ピッチが高いときは上側の白の LED も一緒に点灯します。

※ディスプレイモードの設定は、電源がオフの状態でも保持されます。ただし、電池を外したり、AC アダプターを抜いた場合には、工場出荷時の設定(レギュラー A)に戻ります。また、電池を接続していても、電源の供給されていない AC アダプターのプラグを挿した場合には工場出荷時の設定に戻ります。

●スペック

・B/J BUFFER(チューナーバイパス時)

インプットインピーダンス: 500K Ω

アウトプットインピーダンス: 60 Ω 以下

・チューナー(KORG PitchBlack Custom)

音律: 12 平均律

測定範囲: E0(20.60Hz)~C8(4186Hz)

測定制度: ± 0.1 セント以内

基準ピッチ範囲: A4=436~445Hz(1Hz ステップ)

インプットインピーダンス: 1M Ω (チューナー ON 時)

・電源

アダプター: DC9V アダプター、センターマイナス、内径 2.1mm

電池: 9V 積層型乾電池

電池寿命: チューナー・オン時、連続約 15 時間(連続入力時、ディスプレイモード: レギュラー A、B/J BUFFER OFF、マンガン乾電池使用時)

消費電流: 最大 40mA

・サイズ: 67(W) x 114(D) x 45(H)mm(ゴム足含む)

・重量: 249g

※電池は付属していません。